

2021 年度後期 久留米工業大学

経済支援育英奨学金



奨学生募集

◆応募資格

- ①学業を継続する意思及び能力を有しながら、経済的理由により学生生活に著しく支障をきたす者
- ②育英奨学金は、原則として**在籍期間中 1 人 1 回限り**とする
- ③2 年次以上の学生

(注意)

- ・二又奨学金との併用不可
- ・1 年生及び本学スカラシップ受給者は対象外である
- ・高等教育修学支援制度（給付奨学金 及び 授業料減免）との重複は不可
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う家計急変した学生の授業料等減免との重複は不可

◆奨学金の額

学生 1 人当たり**年間授業料の半額**（**返還の義務なし**）

◆採用人員及び選考基準

採用人数・・・12 名

選考は、久留米工業大学奨学金規程に基づき、選考委員会で選考する

- ①申請書
- ②成績証明書
- ③学費支弁者の令和 2 年源泉徴収票、または確定申告書

◆受付期間

10 月 1 日（金）～11 月 1 日（月）

上記申込書類を揃えて 11 月 1 日（月）までに学生課へ提出してください

◆採用決定

12 月下旬頃

学生課

育英奨学生願書

久留米工業大学

①刀がナ		※男・女		② 学生番号		入学 年 月				
氏名						卒業予定 年 月				
生年月日 年 月 日 (満 歳)				学科 学年						
③本人現住所 〒 (-)				電話番号 - - 携帯電話番号 - -						
④家族住所 〒 (-)				電話番号 - - 携帯電話番号 - -						
⑤ 家族 及 び 所得	就学者家族を除く 主たる居住者に 主たる家計支持者に ○ × 印	続柄	氏名	年齢	職業	在職期間	勤務先	給与所得者：収入金額 (税込) 確定申告者：所得金額	調整所得金額	
		父				年		万円	万円	
		母					年		万円	万円
		※ 父又は母死亡・生別の場合その年月 (年 月)								
		主たる家計支持者無職 (失職) の場合その年月 (年 月) 理由 () 就業見込 ※ 有 無								
					年		万円	万円		
					年		万円	万円		
	⑥ 就学者本人を除く	続柄	氏名	年齢	在学学校名		学年	通学別	就学者控除額	
					立			自宅・自宅外	万円	
					立			自宅・自宅外	万円	
				立			自宅・自宅外	万円		
				立			自宅・自宅外	万円		

⑦ 本人の 学歴	学歴 (休学・転学・退学・予備校・自宅研修等を含む) を記入すること			
	平成	年	月 ()	高等学校卒業又は大学入学資格検定合格
	平成	年	月 ~ 年 月	
	平成	年	月 ~ 年 月	
	平成	年	月 ~ 年 月	
	平成	年	月 ~ 年 月	
⑧ 障害 関係	種 別	本人 (出願者) との続柄	療 養 期 間	
	※ 心身障害		年 月から	
	原爆被爆 (障害の※ 有 ・ 無)		長期療養	
⑨ その他奨学金の受給について ※ 有 ・ 無		有の場合・・・日本学生支援機構 その他の奨学金名称 ()	貸与月額・・・ 万円	

大学記入欄 裏面に続く

特 別 控 除	A	(1) 母子・父子世帯	万円	大学の認定		家計による評価 (オ+カ) 点	
		(2) 就学者	万円	ア) 総所得金額	万円		
		(3) ※障害者・長期療養者	万円	イ) 特別控除額	万円		
		(4) 主たる家計支持者別居	万円	ウ) 認定総所得金額			
		(5) 災害 ()	万円	(ア-イ)	万円		
		(6) 父母以外の所得	万円				
	B	(授業料 84万円) + ※ 自宅 (44万円) = 万円		人物	A ・ B	(オ+カ) 合計： 点	学生厚生委員会 所 見：
				学力	配点		
					評定平均：		
					成績順位：		
計 万円			カ) 合 計：		点		

⑩	家庭事情	育英奨学金を希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することを具体的に詳しく記入すること。	
		主たる家計支持者無職・失職中の場合の生活費の出所 ()	
家計収入が就学者の収入のみの場合、本人の月収 万円			
⑪	以上のとおり記載事項に相違ありません。育英奨学生として採用していただきたくお願いします。		
	西暦 年 月 日		
	久留米工業大学		
	学長 今泉 勝己 殿		
	本人 氏名 印		
	保護者 氏名 印		
	(自署・押印)		

※印の箇所は該当のものを○で囲むこと。
※出願者は太線枠内を記入すること。
※所得証明書(自営業者の場合は、確定申告書) 添付のこと。

[クラス担任の意見書]

クラス担任評価 (A ・ B)

担任名 _____ 印

※注 印鑑は必ず各自のものを使用し、朱肉で鮮明に押すこと